



5

第6号

2021年2月発行

西宮市立西宮東高等学校

図書委員会 広報部

## 特集：後味のいいミステリー

氷菓 米澤穂信

何事にも『省エネ』な主人公、折木奉太郎は姉の勧めで高校の古典部に入部する。そこで出会った仲間達と共に学校内で起こる多くの事件に挑んでいく。この本は、ミステリーといっても怖い話や後味の悪い話はないので、最後まで楽しんで読むことができます。それぞれの話ごとに謎は解決しますが、シリーズものになっているので古典部の仲間との友情や恋の話も進んでいくところがおすすめです。

また、アニメ化や実写化もしているので、小説を読むのが苦手な人は、アニメや映画から見始めても面白いと思います。

インフェルノ

著：ダン・ブラウン

大学教授のロバート・ラングドンの元にワシントンへ来るように、友人のピーター・ソロモンから電話がくる。その理由とは、一流の文化人を招くパーティーの講演をお願いするためだった。約束の地へ行くと、ピーター・ソロモンはおらず代わりにいたのはピーターの右手であった——。『ダヴィンチ・コード』や『天使と悪魔』などで有名なダン・ブラウン著。CIA や危険な男から逃げたり、暗号を解いたり、場面が流転していくスピードが速く、疾走感を感じながら読み進めていくことができます。作中に出てくる建造物が本の始めにプリントされており、作品の世界を感じやすくなっており、本の世界にどっぷりと浸かりたい方にお勧めです。

少女不十分 西尾維新

京都出身の小説家、西尾維新が執筆したミステリー小説。

「この本を書くのに10年かかった」

「原点回帰にして新境地」

と題されているように、これまでの西尾作品の作風に加えて、新たな雰囲気を持っており、この作者の作品を読むのが初めての人でも楽しめる作品です。

「不十分」な少女にとらわれてしまった主人公の行方とは...

これまで西尾作品を読んだことのある人なら思わずニヤっとしてしまうシーンもあるので、ファンの方も是非。